

【470級】の最も一般的な規則42違反

これは、ジャッジとセーラーのためのガイドである。

原則：

ジャッジはセーラーに対して疑わしきは罰せず、であるが、セーラーが規則42に違反していると確信した場合、規則を守っているセーラーを保護するために行動しなければならない。

規則42に影響のあるクラス規則：

C 節 – レースでの条件 – 2013年2月11日より適用

C.1.1(a) 全般

C.1.1 規則

(a) 次のRRS 2013-2016の規則を下記に修正して適用するものとする：

- (1) レース海面全域で明らかに平均風速が8ノットを超える場合、レース委員会はRRS付則P5に従いパンピング、ロッキング、ウーチングを許可する信号を発することができる。これはRRS 42.2 (a)、RRS 42.2 (b)、RRS 42.2 (c)を変更している。

クラス特有のテクニックと違反

規則42緩和の適用を8ノットに引き下げた結果、4から8ノットの非常に狭い風域でジャッジは規則42を取り締まる。滑らかなボートハンドリングが、セールの空気の流れの維持するために良いとして、この風域でトップセーラーは力強い動きはしない。8ノットを超える風で0旗が掲揚された場合、470セーラーは、準備信号後は、アップウィンド、ダウンウィンド共にパンピング、ロッキング、ウーチングをすることができる。スカリング禁止は常に適用され、繰り返しのタックまたはジャイブ、またはボートを推進する1回の行動は緩和されない。セーラーにとっての主要な問題は、風が8ノットを越えたのに、0旗が掲揚されていない場合に発生する。彼らは無意識のうちに下記の禁止行為のいくつかをし始める。

スタート

1. 1回のロール

スタート時の1回のロールで艇を明らかに推進させてはならない。

許される行動：

- 艇を明らかに推進させていない1回のロール

禁止される行動：

- 艇を明らかに推進させる1回のロール - 基本4
- 艇を繰り返しローリングさせること - 42.2b(1)

証拠の収集：

- 競技者が、艇のロールを引き起こしているか？
- 1回のロールは、艇を明らかに推進させているか？
- ローリングは(2回以上)繰り返されているか？

2. スカリング

スカリングは、軽風下、特にスタート・ラインで艇が他艇に挟まれた場合に起こる傾向にある。

許される行動：

- たとえ力強くても、艇がクロスホールドのコースより風上であり、明らかにクロスホールドのコースへの方向転換をしている場合のスカリング - 42.3(d)、スカル1
- 減速のために舵を繰り返し動かすこと - 42.3(f)

禁止される行動：

- 艇が直ちに風位に立つのを止めるため、または他艇の風下に滑り込むための、クロスホールドのコースより風下でのスカリング
- 左右両方向への力強いスカリング - スカル2

証拠の収集：

- ティラーの動きは力強いのか？
- 艇を前進させているか、後進しないようにしているか？
- 艇はクロスホールドのコースより風上であり、明らかにクロスホールドのコースに方向を変えているか？
- 前のスカルを打ち消すようなスカリングか？

アップウィンド

1. ボディ・パンピング

7-8 ノット、または8 ノットを超える風域で0 旗が掲揚されていない場合、スタート・ラインを離れる際、または風上へのビートにおいて見られ、主にクルーによるトラピーズ

でのボディー・パンプを指す。

許される行動：

- 波に合わせて艇のトリムを変えるための身体の前後の動き - ウーチ 1

禁止される行動：

- トラピース上のクルーの足の伸縮、または上半身の過度なトルキングにより、リーチのフリックを繰り返し引き起こすボディー・パンピング - パンプ 6

証拠の収集：

- 波があるか？
- セーラーの身体の動きは波に合っているか？
- セーラーの身体の動きはリーチのフリックを引き起こしているか？
- フリックとセーラーの身体の動きは関連付けられるか？
- フリックは繰り返されているか？
- リーチのフリックは、波により起きていないか？
- 他艇と比較してどのように見えるか？

2. シート・パンピング

風が 6-8 ノットの状況では、ヘルムスマンは風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせるのではなく、リズムカルにメインシート・パンプしがちである。

許される行動：

- 風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせてセールを引き込んだり緩めたりすること - パンプ 2

禁止される行動：

- 風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせるのとは関係なく、セールを引き込んだり緩めたりすること - パンプ 1

証拠の収集：

- 引き込みと緩めは、風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に合わせたものか？
- 繰り返しの引き込みと緩めは、セールをファンニングしているか？

3. ロール・タック

特に軽風下では、大きく目立つロール・タックが見られる。シュラウドにぶら下がって

るクルーによりロールが大きくなっているタックの間、セーラーは身体を力強く動かす。

許される行動：

- タックの間の艇の操舵を容易にするためにローリングを大きくして、タックを完了した時にタック直前と同じスピードになるような身体の動き - ロック 8

禁止される行動：

- 艇のスピードがタック完了直後に増加するように、タックの間に大きなローリングをさせる身体の動き

証拠の収集：

- 各々のタックは艇を増速させたか？
- セーラーの身体の動きは艇を増速させたか？
- タック後の増速に続き、突然明らかに減速したか？

ダウンウィンド

1. パンピング

ダウンウィンドとリーチレグでのスピネーカーのパンピングは、セーラーはそれをトリムとして正当化しようとするが、470 級の最も一般的な違反の一つである。

許される行動：

- その時の状況に合わせて、艇をトリムするためのセールの引き込み - パンプ 2
- サーフィングまたはプレーニングを開始するために一波またはガスト(風の一吹き)に 1 回、一方のセール、または同時に両方のセールをパンプすること。ただし、艇がサーフィングと認められるためには、急に加速しながら波の前面を下るものでなければならない。
- 42.3 (c)
- バテンが裏返っている場合には、明らかに艇を推進しなければ、艇の乗員はバテンが正しく返るまでセールをパンプすることができる。 - 42.3(e)

禁止される行動：

- セールをファンニングさせるための引き込み - パンプ 1
- スピネーカーがつぶれたり、過度のトリムをして、それを適正にするために繰り返しリズミカルに行なうスピネーカーのパンプ - パンプ 1
- 微風下で、サーフィングまたはプレーニングを開始するためではなく、繰り返しスピネーカーを艇から離して飛ばし、力強くパンプすること - パンプ 1
- サーフィング中またはプレーニング中のパンピング - パンプ 1 2

- サーフィングまたはプレーニングを開始するためにヘルムスマンがメインセイルを1回パンプして、すでにサーフィング中またはプレーニング中になってから、続いてスピネーカーをパンプすること

証拠の収集:

- サーフィングまたはプレーニングできる状況か?
- 一波またはガスト(風の一吹き)につき1回のパンプはサーフィングまたはプレーニングを開始しているか?
- 艇は、サーフィング中またはプレーニング中にパンプしているか?
- 引き込みと緩めは風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に対応しているか?
- 繰り返しの引き込みと緩めで、セイルをファンニングしているか?

2. ロッキング

470級のロッキングは、通常規則的なパターンで発生し、艇の反対側に座っているヘルムスマンとクルーの両方の繰り返しの身体の動きで起こる。

許される行動:

- 艇の復元性が減少したときに、乗員が固定された位置をとること - ロック4

禁止される行動:

- ヘルムスマンとクルーが艇の反対側に座り、ローリングを大きくしたり、バックグラウンド・ローリングを助長したりするローリング - 42.2(b)(1)

証拠の収集:

- 競技者は、艇の復元性が減少しているときに、艇のトリムを適正に戻そうとしているか?
- 競技者は艇のロールを引き起こしているか?
- ローリングは繰り返されているか?

助言

1. 質問しよう。
2. もしあなたがテクニックについて自信がない場合には、書いて説明をお願いしよう。その答えは他のセーラーにも有益である。
3. イエローフラッグ・ペナルティーを受けた場合には、あなたがしてよいこと、してはいけないことの説明を、ジャッジをお願いしよう。
4. より重要な大会では、セーラーに対するジャッジの比率が高い。よって、実際起こると

き、あなたの帆走テクニックはしっかり見られていることを覚えておこう。

この文章は、ガイダンスとしてのみ位置づけています。公式文章は、「ISAF の解釈」です。